伊丹市立東中学校　第３学年 学年通信　No.１４
Colorful　2018年１１月９日
11月

自分をしっかり見つめよう

予備懇談が始まりました。今回の懇談は、12月の三者懇談でスムーズに進路先の最終決定ができるためのアドバイスの場です。みなさんの1学期の評定と、実力テストの点数等をもとに、現在の進路希望に対してどんな可能性があるのかを、担任の先生から話します。みなさんにとっては、「志望校に合格できるかどうか」が最も気になることだと思いますが、それだけではなく、これを機に「今の自分」もしっかり見つめてほしいと思います。今の自分の授業態度、生活態度、宿題等の提出状況、家庭での学習時間や内容、生活リズムが志望校を目指せるものであるかどうか、しっかり確認してください。そして、何か改善するべき課題があるなら、それを克服する努力をしましょう。先生たちもお手伝いします。一緒に頑張りましょう。

「学習発表会を振り返って」1・3・5組編

今回の合唱コンクールでクラスが歌った曲は、「信じる」でした。この歌は、曲の雰囲気の変化が激しいので、とても難しかったです。アルトは特に音程を取るのに苦労しました。音楽の授業では、まだ気持ちが入っていなくて、練習中に話している人が多く、まとまりが少なかったので、本番までに完成できるか不安でした。

クラス練習が始まると、伴奏者や指揮者、パートリーダーが中心となって練習内容を考えてくれました。パート練習では、大きな口を開けて歌うことを意識しました。先生やリーダーからのアドバイスも少しずつ実行に移しました。

練習の中でも、きょうだい学級で聴き合ったことが印象に残っています。２年生は男声も女声もとても上手でびっくりしました。自分たちが負けているな、と感じ、そこで自分の中で火がつきました。

リハーサルでは他のクラスの歌を聴き、どのクラスも上手だったので、ここでさぼってしまうと絶対ダメだと思いました。その翌週には、舩津先生のレッスンを受け、さらに気持ちが変わりました。一週間、本気になって歌うことができました。

本番では、１組は最初だったので、緊張するまもなく歌うことができました。少し音をはずしてしまったところがあったので、少し悔しかったです。でも、今までで一番良かったと思いました。これまでの成果が出たな、とも思いました。賞を取ることはできなかったけど、良い思い出になりました。

今回の合唱で、クラスの絆が深まったと思います。クラス目標である「協力と全力　～挑戦する気持ちとポジティブな心を～」も達成できたと思います。あと半年も「協力と全力」を心がけていきたいです。

（１組　新谷さん）

合唱コンクールの曲が決まったときは、この曲の難しさを知らなかったので、「この曲に決まったんだな」としか思いませんでした。しかし、練習を始めると、１、２年生の時とは全く違う難しさに気づき、音程を取るだけでも大変な思いをしました。周りはできているのに自分はできていない、といったことが多くあり、「自分が足を引っ張っている」と思っていました。

今回の曲「はじまり」は、男声が一部分だけテノールとバスに分かれるという、今まで経験したことのない形でした。音が上下で同じところはすぐに

歌えましたが、分かれるところがわかりづらく、苦労しました。
　リハーサルのとき、他のクラスの歌声は、迫力がある、美しい声だったので、「学年全体が上手になっているんだな」と思いました。それと同時に、「自分のクラスは大丈夫かな」と思いました。だから一週間、みんなが頑張りました。
　今年は２年生の時とは違い、クラス練習が始まる前から「良い歌にしよう」という気持ちがクラスから感じられました。気持ちが初めからそろっていたので、銀賞がとれたのだと思います。これで大きな行事は卒業式だけとなったので、受験に向けてしっかりと勉強に取り組み、頑張ります。

（３組　上木くん）

　結果としては、合唱コンクールで入賞することはできませんでしたが、３年生になってすぐに始まった曲選びから、ここまで長い時間をかけて取りくんできたことは、私の中ですごく価値のあるものになりました。
　３－５が選んだ「君が君に歌う歌」は、高校生用に作られた曲です。歌詞を目で追うと、一つ一つの言葉に作詞家の魂が込められていて、その言葉がずっしりと心に留まるような感じがして、すごく共感しました。曲の難易度は少し高かったですが、パートで地道に合わせていくうちにだんだん声が出てきたり、お互いの顔を見合って歌えるようになったりと、一体感が出てきました。しかし、全体で合わせると自分のパートがわからなくなったり、前に練習したところができなくなったりと、一進一退を繰り返していました。
　そして当日。朝、教室に入ると黒板にメッセージが描かれていたり、一人一人の机にメッセージカードが置いてあったりと、クラスの子の真心に、すごく温かい気持になりました。合唱コンクールの大トリとして歌ったときは、やはり緊張して失敗もしたし、練習の方が良かった箇所もありましたが、「君が君に歌う歌」の歌詞に、自分が伝えたいことを込めることができました。聴いてくださった誰かに、少しでもこの曲の良さや自分の思いが伝われば良いと思いました。
　また、他クラスの合唱を聴いて、すごく心が震えました。初めてながらも一生懸命な１年生の合唱、情熱的な２年生の合唱、そしてまさに「魂」の３年生の合唱。聴いていてすごく心地が良く、歌っている姿や歌声に励まされ、勇気をもらいました。
　私は今回の合唱コンクールを通してより歌うことが楽しいと思えたし、何よりも「君が君に歌う歌」が大好きになれました。これからも素敵な音楽にたくさん出会っていきたいです。

（５組　竹内さん）

ことば蔵帯ワングランプリ『伊丹本屋大賞』を東中生が独占！

国語の時間に取り組んで応募した本の帯のコンクールで、1年生を1人を含む5人が「伊丹本屋大賞」に選ばれました。入選した人たちの帯を巻いた本が店頭に並びます。みなさん、おめでとうございます！

１組：山本くん「神様の御用人（浅葉なつ著）」（ブックランドフレンズ）

１組：北﨑さん「ナミヤ雑貨店の奇蹟（東野圭吾著）」（イオンモール伊丹未来屋書店）

３組：中井さん「さくらえび（さくらももこ著）」（文学館伊丹ターミナル店）

６組：春名さん「人狼ゲーム（川上亮著）」（TSUTAYA 阪急伊丹駅前店）